

(案)

市民図書館の利用に関するアンケート実施要項

1. 目 的

石狩市民の利用実態や、市民ニーズを把握し、より多くの市民に利用されるような図書館運営について、今後の方向性を探る。

2. ポイント

開館から 15 年が経過しており、開館当初から社会や石狩市の状況も変わってきた。これに伴い、読書や情報に対する人々の考え方や、図書館といった生涯学習施設に対するニーズも変化してきている。

石狩市民図書館は開館以来、多くの市民に利用されてきたが、この「利用」のあり方は、利用登録をして本を借りるだけでなく、イベントやボランティア活動への参加、また仲間との打ち合わせなど、生涯学習施設として様々な目的や用途で有効に活用されてきていると考える。

今後も更に市民の生涯学習を支援するべく、次の点を検証するため、データを収集する。

(1) 実際に借りている人の利用登録の有無

図書館協議会等から「市民利用登録率が低い（2割）」との指摘を受けているが、当館が貸出冊数無制限であることから、夫婦のどちらかや家族の誰か 1 人が利用登録し、この 1 枚のカードで家族分を借りている（家族カード化）実態を把握、利用登録率との乖離があるのか検証し、課題として検討すべきかの検討材料とする

(2) 非利用者が利用しない理由の把握

- ① 以前は登録（もしくは利用）していたが、今は利用しなくなった人の理由
- ② 他の図書館は利用するが、市民図書館は利用しない理由

(3) 来館目的の把握（市民は図書館に何を期待しているのか）

当館の来館者がどんな目的でどのような利用の仕方をしているか。地域性やこれまでの運営内容から、図書館に対する一般的な概念、役割にない利用、認識のされ方をしているかかもしれず、ここを探ることで、今後更に地域や市民ニーズに根ざした、オリジナルな図書館になるためのヒントを得ていく

3. 結果の活用

- ・運営改善に向けた基礎資料とする
- ・次期石狩市教育プラン（H32～）及び石狩市民図書館ビジョン（H32～）の策定作業における基礎資料とする

4. 実 施 者 石狩市教育委員会生涯学習部市民図書館

(案)

5. 対象、手法、回答方法

企画課が実施（平成 29 年 12 月を予定）する市総合計画に関するアンケートと同封

（1）対 象

調査地域 石狩市全域

調査対象者 石狩市に在住する平成 12 年 4 月 1 日以前生まれの方 3,000 人

（2）手 法

抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出

実施方法 郵送調査（返信用封筒を同封）

実施期間 平成 29 年 12 月中（企画課のアンケート実施時期）

（3）回答方法 次のいずれかで回答

① 郵送

② インターネット（パソコン、スマートフォン）からの入力 ※

6. 公 開 ホームページで公開及び冊子化し配布

7. 調査内容 別紙